

資源循環・廃棄物方針

制定:2026年6月26日

株式会社ブラウブリッツ秋田

1. 基本的な考え方

ブラウブリッツ秋田は、限りある資源を有効に活用し、廃棄物の発生を抑制することが持続可能な社会の実現に不可欠であると認識しています。クラブ活動に伴う廃棄物の発生を最小化するとともに、資源の循環利用を推進します。使い捨てプラスチックの削減や廃棄物の適切な分別・管理・リサイクルを通じて、廃棄物由来の温室効果ガス(GHG)排出量および環境負荷の低減に取り組みます。

2. 長期ビジョン

リデュース・リユース・リサイクル(3R)の考え方に基づき、クラブが関連するすべての施設において廃棄物の発生抑制と資源循環を実現します。使い捨てプラスチックの廃止と廃棄物のリサイクル率向上を通じて、廃棄物に由来する環境負荷を継続的に削減することを目指します。

3. 目標

【使い捨てプラスチック】

- ・ 2026年内に、スタジアムおよびクラブ施設で使用する使い捨てプラスチック製品の品目リストを作成し、削減対象品目を特定する
- ・ 削減対象品目のうち1品目以上について、2027年度末までに代替素材への転換を実現する
- ・ 2030年までにスタジアム内の使い捨てプラスチック容器の大幅削減(代替素材への転換を推進)

【廃棄物管理】

- ・ 全施設における廃棄物量・焼却率の把握・ベースライン確立
- ・ ホームゲーム時のエコステーションによる分別カテゴリを現状維持以上で継続し、リサイクル実績を年次記録・公表する
- ・ 古紙・ペットボトルキャップ等の資源回収品目数を毎年記録する

※ 廃棄物由来のGHG削減目標はGHG排出量算定の完了(2026年6月予定)後に確定し、本方針に追記します。

4. 取り組み内容

(1)リデュース(発生抑制)

- ・ 使い捨てプラスチック製品の調達・使用を段階的に削減します
- ・ 代替素材(紙・生分解性素材等)への転換を検討・推進します
- ・ クラブ事務所・クラブハウスにおけるペーパーレス化を推進します

(2)リユース(再利用)

- ・ ホームゲーム時における再利用可能カップ(エコカップ)の提供を継続します
- ・ リユース可能な容器・備品の積極的な活用を推進します

(3)リサイクル(再資源化)

- ・ ホームゲーム時のエコステーション(分別ゴミ箱)の運営を継続します
- ・ ペットボトルキャップ回収・NPO寄付活動を継続します
- ・ クラブ事務所・クラブハウスにおける古紙回収・再資源化を導入します
- ・ 廃棄物量・焼却率の計測・公表に取り組みます
- ・ 地域のごみ拾い活動を継続します

※ ソユースタジアム(秋田市八橋運動公園陸上競技場)は施設管理者が秋田市であるため、施設設備に関わる変更・改善は施設管理者との協議を前提とします。

本方針はサステナビリティ基本方針(2026年制定)に紐づく個別方針です。